



秋田県大仙市



野球に燃える

親父たちの甲子園



秋田魁新報社

全国・全県 500歳・550歳野球大会
特別ルールブック vol.4

男鹿水族館
GAO

男鹿国立公園



白神山地世界自然遺産
指定地域

青森県

十和田湖

大館北.I.C. 小坂JCT 小坂.I.C. 十和田.I.C.
大館南.I.C. 二井田真中.I.C. 小坂北.I.C.
二ツ井白神.I.C. 鷹ノ巣.I.C. 大館能代空港.I.C. 鹿角八幡平.I.C.

秋田県

秋田自動車道
太平洋国立自然公園

秋田市

仙北市

秋田中央.I.C. 秋田南.I.C. 秋田南.I.C. 河辺.I.C. 雄物川

田沢湖

田沢湖廻り
県立自然公園

協和.I.C.

大仙市

和賀岳

喜木真昼
県立自然公園

秋田空港

西仙北
I.C.(S.A.)

大曲.I.C.

真昼岳

栗駒国立公園

日本海沿岸
東北自動車道

大森.P.A.

横手北
スマート.I.C.

美郷町

金浦.I.C.

象潟.I.C.

横手.I.C.

よこて

東北自動車道

鳥海山

湯沢.I.C.

きたかみ

象潟.I.C.

雄勝こまち.I.C.

横手市

きたかみ

象潟.I.C.

山形県

湯沢.I.C.

きたかみ

象潟.I.C.

宮城県

湯沢.I.C.

きたかみ

ACCESS

鉄道情報

- 東京 — 盛岡 — 角館 — 大曲
【秋田新幹線こまち 約3時間30分】
- 東京 — 山形 — 新庄 — 大曲
【山形新幹線 約3時間35分】【奥羽本線 約2時間】
- 秋田 — 大曲
【秋田新幹線こまち 約30分】

空路情報

- 東京(羽田) [約65分] 秋田空港
 - 愛知(中部国際) [約80分] 秋田空港
 - 大阪(伊丹) [約80分] 秋田空港
 - 札幌(新千歳) [約55分] 秋田空港
- 大仙 [車・エアポートライナーで約60分]
- 秋田駅 [リムジンバスで約40分]
- 秋田駅 [秋田新幹線こまちで約30分]
- 大曲駅

道路情報

- 仙台南.I.C. 北上JCT 横手.I.C. 横手北スマート.I.C. 大曲.I.C.
【東北自動車道 約80分】【秋田自動車道 約60分】
- 秋田駅 秋田南.I.C. 大曲.I.C.
【一般道 約20分】【秋田自動車道 約30分】
- 盛岡 大仙
【国道46号～国道105号 約120分】
- 秋田空港 大仙
【国道13号経由 約60分】【秋田自動車道利用 約40分】
- 東京 大曲バスターミナル
【夜行高速遠距離バス 約9時間】



選手たちの永遠の目標

王貞治さんから

メッセージをいただきました。

500歳野球、野球人として
こんなに胸を張れる大会に参加
できることは喜ぶ心も誇りでもね
勝ちも負けもない笑顔にあふれた
野球、僕もやりたかったです
いつかでもプレー出来るように
チャレンジし続けてくれたさん

2020年吉日

王貞治

選手の皆さん憧れの女優

吉永小百合さんから

メッセージをいただきました。



500歳野球大会出場の皆様、
一生涯現役で野球を続かれていると
伺い、本当に素晴らしいことと思います。
お怪我に気を付けて、大活躍して下さい。
下さ。

応援に行くことが出来ませんけれど、
一生涯懸命遠くから声援を送ります。
頑張ってくださいね!!

2014年

吉永小百合



大仙生まれのスター俳優

柳葉敏郎さんから

メッセージをいただきました。

“50歳野球..は、秋田が誇るスポーツ文化...と自負します。

50歳以上の野球少年(?)達が織り成すこの90分間は、

笑あり、涙あり、そして...

大感動あり。

この仲間にはこれこそと頂いて
いることに最高の幸せを感じて

... “50歳野球、万歳！”

2014年、吉日

柳葉敏郎

農業を通じて秋田と親交のある

俳優 永島敏行さんから

メッセージをいただきました。



東京在住の私が去年、映画祭や米作りで縁のある横手市十文字町の50歳野球のチームに所属させていただきました。50歳野球には優しさがあります。勿論勝負事なので真剣に試合をしているのですが、それぞれのチームには野球経験者、野球を経験したことのない方、高齢者の方々がや病気などを患っているなどが参加してチームがつけられている。試合に出られなくともみんながみんなを支えチームが成り立っている。50歳野球は地域社会そのものなんだと気づかされました。秋田県の素晴らしい文化なんですね50歳野球は！日本全国に広がればいいなあ！

2016年

永島敏行

第8回沖縄国際映画祭

『500歳野球～オヤジ達の甲子園～』出展



©2016『500歳野球～オヤジ達の甲子園～』製作委員会

「全県500歳野球大会」は、秋田県少年野球発祥の地である大仙市神岡地域(旧神岡町)で「一生現役でプレーしたい」という野球選手の願望から、1979年に産声を上げました。ルールは年齢50歳以上、ナインの合計年齢が500歳以上。「野球に燃える親父たちの甲子園」と称して、180チーム以上の親父達が野球コミュニティの輪を広げております。



監督 佐藤 貴之 TAKAYUKI SATO

1972年生まれ。仙台商業高校卒業。アリティーヴィー株式会社代表取締役。地上波テレビ局の番組ディレクターとして13年活動し独立。東北の魅力を世界に発信するためインターネットテレビ局アリティーヴィーを起業。震災後は立ち上がる東北のドキュメンタリー番組を200本以上プロデュースし東北の復興を世界にアピールしている。現在、映像の力で地域活性を図るプロジェクトやインバウンド向けの観光PR映像を多数制作している。

第5回スポーツ振興賞

経済産業省 商務情報政策局長賞 受賞

第1回 500歳野球大会

野球に燃える親父たちの甲子園

主催：大仙市・秋田魁新報社(500歳・550歳野球大会実行委員会)

秋田県大仙市で行われる「全県500歳野球大会」の第1回大会は、昭和54年(1979年)に8チーム130人が集い、開催されました。その後、野球ルールを大きく変え、マスターズ(40歳以上)・還暦野球(60歳以上)の間に属する中間層の選手が最も輝ける大会となっています。出場選手9人の合計年齢が常時500歳以上で、一度退場した選手でも同じ打順であれば再登場が出来るなど、独自のルールで行われています。平成28年の第38回では、秋田県全県から184チーム4,700人の選手が参加する歴史と権威のあるマンモス大会に成長しております。

平成29年度は、第1回全国500歳野球大会となり、参加者1,080人(32チーム)うち、場外600人(20チーム)が参加しました。秋田魁新報社は、大会特集号や号外を発刊し、全試合の結果と個人成績を翌日の紙面に掲載し、参加選手の活躍の糧になっているとの評判です。大会は、「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズのもと、中・高齢者が野球を楽しみ、健康作りを行うことをモットーに、生涯スポーツとしての野球を続け、長寿社会の形成に資することを目的としています。将来的には47都道府県からの参加チームによる大会を目指します。

第25回ふるさとイベント大賞

優秀賞 受賞

全国・全県 500歳・550歳野球大会 特別ルール解説

【1】出場資格

- ① 大会開催年度内に満50歳（550歳野球大会は57歳）を迎える年代以上の方。
- ② ゲーム出場選手9人の合計年齢が500歳以上。
（550歳野球大会は550歳以上）
- ③ 登録は、監督・主将を含めて30人以内。
（550歳野球大会は25人以内と世話人5人以内）

【2】選手の服装・着用品

- ① ユニフォーム等は、チームで統一します。
- ② スパイクはポイントスパイク等。（金属製金具の付いたスパイクは使用出来ません。）
- ③ 捕手は、プロテクター・ヘルメット・レガーズを着用します。また、ファウルカップの着用を奨励します。
打者、次打者、走者、ベースコーチも安全のためヘルメットを着用します。

【3】試合上の規則

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
イニング数	7	5	5
時間制限	1時間50分 （決勝戦を除く）	大会初日・2日目 1時間30分	大会初日 1時間30分
コールドゲーム	5回以降10点差 （決勝戦を除く）	適用無し	適用無し
延長戦	8回以降 タイ・ブレイク （一死満塁 選択打順）	大会初日・2日目 ジャンケン	大会初日 ジャンケン
		大会3日目以降 6回以降タイ・ブレイク （一死満塁 選択打順）	大会2日目以降 6回以降タイ・ブレイク （一死満塁 選択打順）

※時間制限の適用は、定められた時間を超えた場合は新しいイニングに入らない。

※タイ・ブレイク適用以外の同点試合のジャンケンは打順1番からとします。



区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
投手～本塁間	16m	16m	16m
塁間	23m	23m	23m
両翼～本塁間	80m	75m	75m
中堅～本塁間	90m	85m	85m

※バッターボックス区画やベース類は一般用のものを用います。

①投手、野手にこだわらず1度ゲームを退いても、何度でも出場できます。ただし、投手がイニング途中で退いた場合、同イニングでの再登板は認められません。

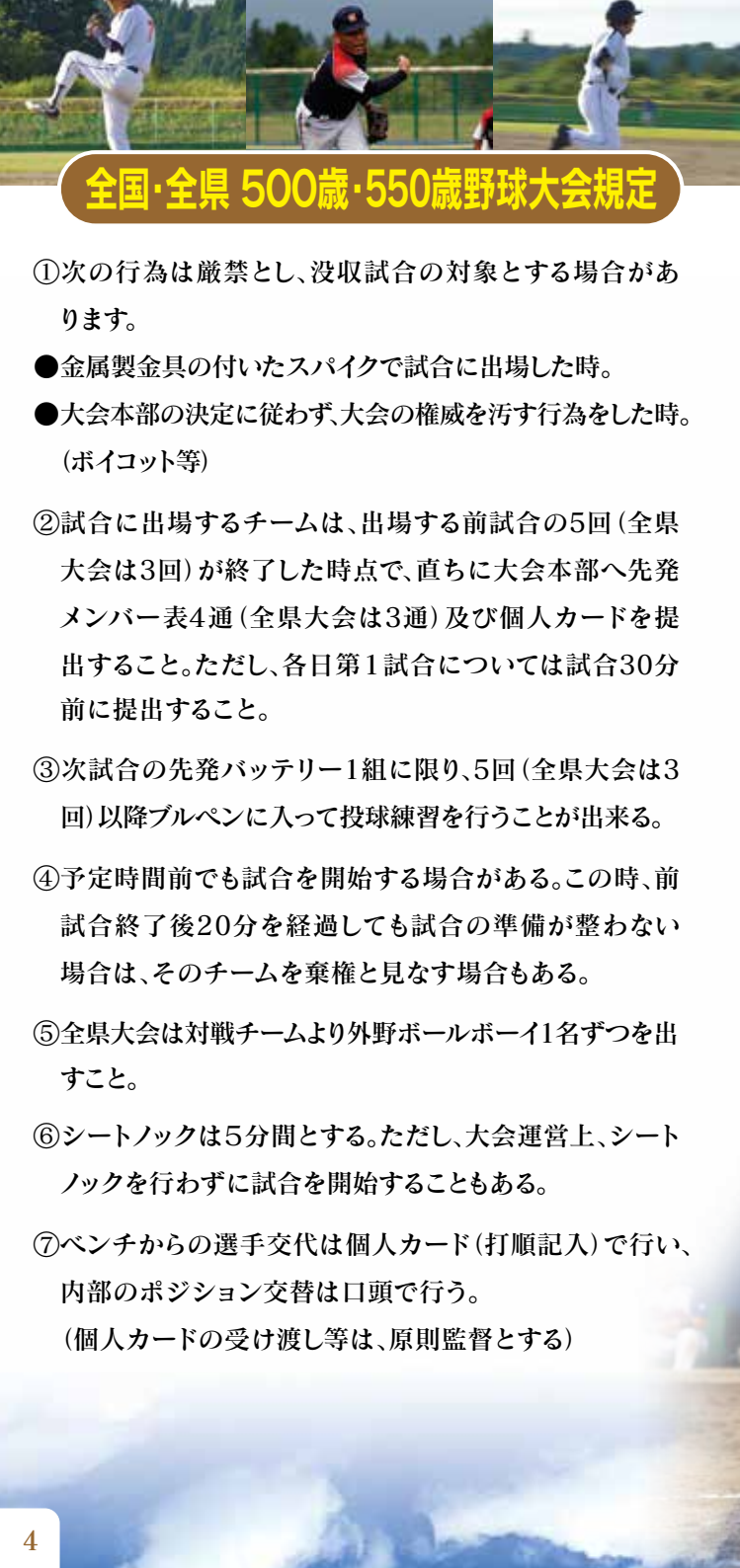
区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
55歳以下	アウトカウント12	アウトカウント9	—
56歳以上	制限無し	制限無し	—
59歳以下	—	—	アウトカウント9
60歳以上	—	—	制限無し

※タイ・ブレイクに至った場合は年齢制限を除外します。

②タイ・ブレイク時の打者、走者(三大会共通事項)
打順は任意とし、走者は打者の逆順とする。次回以降は前イニング終了時からの継続打順とする。

③雨天、日没によるコールドゲーム
雨天や日没の場合、5回(全県500歳・550歳大会「以下、全県大会」は3回)以降で勝敗が確定した時はコールドゲームを適用する場合があります。ただし、雨天等により一時中断しても、時間や試合が可能な球場等に会場を変更して行う場合もあります。全県大会は、この時点で同点の場合、出場選手9人によるジャンケンで勝敗を決めます。

④その他、上記規則に特別の定めがない事項については実行委員会及び大会本部が別に定めるものとします。



全国・全県 500歳・550歳野球大会規定

- ①次の行為は厳禁とし、没収試合の対象とする場合があります。
 - 金属製金具の付いたスパイクで試合に出場した時。
 - 大会本部の決定に従わず、大会の権威を汚す行為をした時。
(ボイコット等)
- ②試合に出場するチームは、出場する前試合の5回(全県大会は3回)が終了した時点で、直ちに大会本部へ先発メンバー表4通(全県大会は3通)及び個人カードを提出すること。ただし、各日第1試合については試合30分前に提出すること。
- ③次試合の先発バッテリー1組に限り、5回(全県大会は3回)以降ブルペンに入って投球練習を行うことができる。
- ④予定時間前でも試合を開始する場合がある。この時、前試合終了後20分を経過しても試合の準備が整わない場合は、そのチームを棄権と見なす場合もある。
- ⑤全県大会は対戦チームより外野ボールボーイ1名ずつを出すこと。
- ⑥シートノックは5分間とする。ただし、大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。
- ⑦ベンチからの選手交代は個人カード(打順記入)で行い、内部のポジション交替は口頭で行う。
(個人カードの受け渡し等は、原則監督とする)



- ⑧試合終了後、両チームの代表者は本部において試合記録の確認を行うこと。また、この際に勝利チームの代表者は次試合用のメンバー表を本部から受け取ること。
- ⑨試合球は、ケンコーボールM号を使用する。
- ⑩ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- ⑪荒天等により、大会期間中に全試合が消化できない場合、大会の中止もしくは延期については、主催者の判断により決する。
- ⑫試合終了後は、チームの勝敗に拘わらずグラウンド整備をすること。
- ⑬試合上のケガについて主催者は、一切責任を負わない。また、参加チームは傷害保険及び賠償責任保険等にチーム責任として必ず加入すること。
- ⑭その他、上記規定に特別の定めがない事項については実行委員会及び大会本部が別に定めるものとする。





再度出場の規則(代打代走)



常に9人の合計が500歳(550歳)以上になっていること

- ① 打者に代わって代打者、走者に代わって代走者が出場できるが、打者、走者共に打順表の中でその順番が固定されており、多様な選手交代によって打者の打順を変えることはできないので、特にご注意願います。
※守備位置が変わっても、打順は1試合を通じて固定されます。
- ② 代打者、代走者が守備についてもよいが、代わった自分の打順で打撃を続けること。

打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	◎	◎
走者	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K

- 例1) 1番のAさんにJさんが代打で出場したとき、Aさん、Jさん共に試合終了まで1番打者となる。
- 例2) 1番のAさんにJさんが代打で、2番のBさんに代走者Kさんが出てそのまま守備についたとき、試合終了までAさんとJさんが1番打者で、BさんとKさんが2番打者となる。

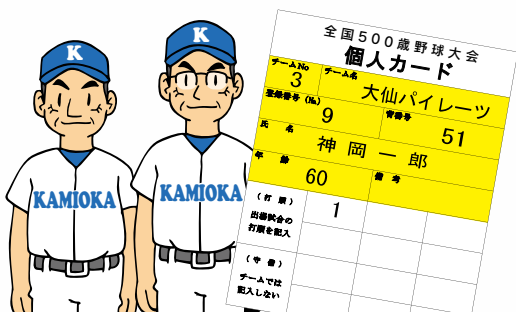
プレイボール直後の選手交代

- ◎ 先攻チームの場合、1回プレイボール直後に投手が1球も投げないうちに、1番打者に代打を適用する。(OK)
- ◎ 後攻チームの場合、1回プレイボール直後に投手が1球も投げないうちに、守備の交代を適用する。(野手はOK) (投手は、第1打者と対決する義務があるのでNG)



選手交代時の年齢確認について

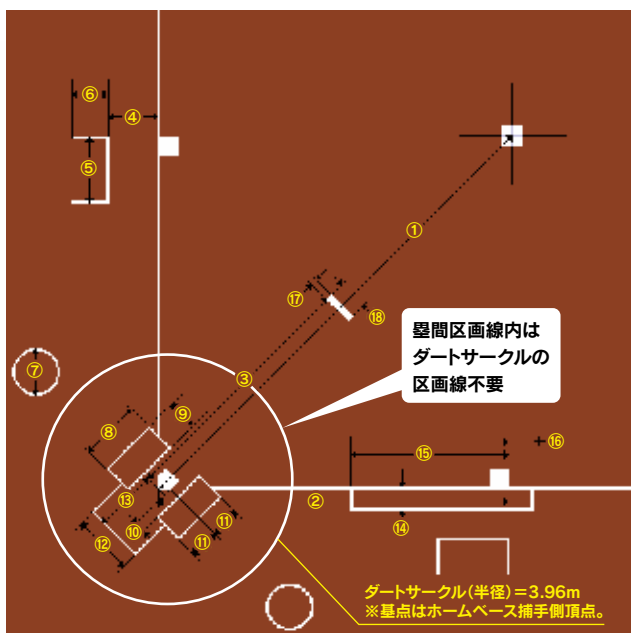
- ① 選手交代時は、審判にタイムを要求して個人カードで行ってください。
- ② 交替選手が確認できた段階で、審判は年齢計算を待たずにプレイをジャッジします。
- ③ 会場本部は、プレイ中に年齢計算をして、合計年齢確認の結果、万一年齢に不足が生じていても本部からは公表しません。(プレイを止めない)
- ④ 相手チームから、合計年齢不足を根拠とした計算年齢を提示した訴えがあった場合のみ、確認した合計年齢を公表し、実際に年齢に不足が生じている場合は、両チームの監督に確認し、選手交代を行います。尚、全県大会においては大会本部の指示を得た段階で没収試合とする場合があります。



アピール・クレームについて

年齢計算などの規定違反に対するアピール・クレームについては、現に規定違反となっている時点でのみ受け付けます。規定違反時点が過ぎてから、もしくは試合終了後のアピール・クレームについては、受け付けません。

グラウンド区画線の長さについて



長さ	位置	長さ(m)
①	対角(塁)間	32.50
②	各 塁 間	23.00
③	投手板/本塁間	16.00
④	ファールライン/ コーチスボックス間	3.00
⑤	コーチスボックス 幅	5.14
⑥	コーチスボックス 奥 行	2.54
⑦	ネクストバッター サークル(直径)	1.30

※①～⑦、⑭～⑱は学童野球規則、
⑧～⑬(太字) は一般野球規則に準拠

長さ	位置	長さ(m)
⑧	バッターボックス 長	1.82
⑨	バッターボックス 幅	1.22
⑩	本塁/バッター ボックス間	0.15
⑪	⑧ の 半 分 (中心位置注意)	0.91
⑫	キャッチャース ボックス幅	1.09
⑬	本塁/キャッチャース ボックス最後方間	2.44
⑭	3フィートライン 幅	0.91
⑮	3フィートライン起点 / 一 塁 間	11.50
⑯	一塁/3フィートライン 終 端 間	0.91
⑰	投 手 板 前 後 幅	0.15
⑱	投 手 板 幅	0.61



外野フェンスの張り方



ホームベースの
この頂点が基点です



Q&A



選手の服装・着用品等について

Q. スパイクの色は別々でもいいのか？



A. 金属製金具のついたスパイク以外であれば、色は自由とし全員同色でなくても構いません。運動靴の使用も可とします。

Q. ランナーコーチが着用するヘルメットは、バッターヘルメットと同色でなければいけないのか？



A. 安全対策が趣旨であるため、同色でなくても良いが、できるだけ統一して下さい。

Q. ストッキングは同一色のものであれば、どのような形状でも良いのか？



A. 同一色であれば、形状は問いません。

Q. サングラスの着用は可能か？

A. 可能です。種類も問いませんが、プレーに適したサングラスの着用をお願いします。



【主催】
大仙市・
秋田魁新報社
(500歳・550歳野球
大会実行委員会)





Q. パンツスタイルが多様化しているが、チーム内で混在していても良いのか？

A. レギュラー・ロング・エクストラロング・足掛け式ストレート等様々なスタイルのパンツがありますが、チーム内で混在しても可とします。ただし、スポーツマンらしい着こなしとしてください。

Q. 新人のチーム員にユニホームを新調する場合に、胸番号・袖マーク・背ネーム・パンツ番号まで統一しなければならないのか？

A. 現ユニホームも、数年後には廃盤になります。メーカーや素材が違っていてもデザインが統一されていれば可とします。また、胸番号・袖マーク背ネームは出来るだけ統一していただきたいと思いますが、メーカーの事情等により付いているものと付いてないものが混在しても可とします。

Q. 背番号に関する規定はあるか？

A. 監督、主将等の背番号規定は特にありません。また、番号についても自由ですが、試合に出場する選手は必ず背番号をつけていただきます。



500歳(550歳)野球大会

Q&A



その他

Q. 開会式にはどの程度の人数の選手を参加させるべきか?

A①. 全国大会:主催者側が定めた人数での参加となります。

A②. 全県大会:原則的には登録選手全員での参加をお願いします。

Q. 全県大会のボールボーイ係について、誰を出すのか本部への届け出は必要か?

A. 原則としてチームの一員でお願いします。届け出は不要です。チーム事情により、選手登録者以外の方を出す場合は本部にご確認ください。

Q. 時間制限の適用について

A. 次により時間制限が適用となります。

ケース①	チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
	A	0	0	2	0	3	1		6
	B	0	0	0	0	2			2

[Aがリードの6回表に試合時間に達した場合] ⇒6回裏の攻撃まで行う。

ケース②	チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
	A	0	0	2	0	0	1		3
	B	0	0	2	0	2			4

[Bがリードの6回裏のBの攻撃中に試合時間に達した場合]
⇒試合時間に達した時点で試合終了となるが、そのときの打者の打撃中にその旨を両チームに通告し、この打者の記録までを有効とする。

Q. 監督がプレーヤーと協議するために要求できるタイムの回数?

3回

A. 1試合中、選手交代とは別に、

「監督またはコーチが投手の所へ行く回数」
「守備側」、「攻撃側」が要求できるタイムは、それぞれ3回までとします。なお、タイ・ブレーク時は2イニングに1回、要求することが出来ます。

Q. 雨天・日没で5回以降勝敗が確定時は
 コールドゲームを適用する場合があるとなっ
 ているが、どのような基準で判断するのか？
 (全県大会は5回を3回と置き換えます。)

A. 次により主催者が判断します。

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
5回に満たない	特別継続試合		
5回以降同点	特別継続試合		
5回以降 勝敗が確定	試合継続が不可能と判断した場合は コールドゲームとする場合がある。		

※途中荒天等による、試合継続の
 可否については、試合を完了す
 るように最大限の努力をしつ
 主催者が最終判断をします。



Q. 登録外選手または背番号が違う選手が出場
 した場合の対応について

- A①. 大会プログラムの登録番号と実際に着用して
 いるユニホームの背番号が違う場合はメン
 バー表の交換の際に申し出て、相手チームの
 代表者が了承した場合は、出場を可とします。
- A②. 登録選手間の背番号のつけ間違いが判明した
 場合は、判明した時点で正しく改めさせて試合
 を継続します。
- A③. 登録外選手(大会プログラムに記載されていな
 い選手)または、背番号が違う選手が出場した
 場合は、その選手の出場を差し止め、ベンチか
 ら退去させただうえで、チーム自体の没収試合と
 はしません。

Q. 没収試合の対象となるケースは？

- A. ゲーム出場選手の合計年齢が500歳以上(550
 歳野球は550歳以上)を満たしていない場合や
 金属製金具の付いたスパイクの着用が判明した
 場合は没収試合の対象とする場合もあります。



個人カード記入の仕方について

**このカードは、スピーディな選手交代と
年齢計算を行うために導入しています。
記入する際には、下記の事項に注意して下さい。**

- ① チームNoにはチームの抽選番号を、チーム名には正式名称を記入してください。
- ② 登録番号 (No.)、背番号は開会式当日に受付で配布する「大会プログラム」に記載されている番号と相違ないことを必ず確認してください。
- ③ 氏名はフルネームで記入し、打順は当該試合の固定打順を記入してください。
※年齢も忘れずに記入してください。
- ④ 先発9人分のカードは、試合前にメンバー表とともに提出すること。
(メンバー表の誤字・脱字にはご注意願います)
- ⑤ 選手交代をする時は、出場選手のカードを提出し、退く選手のカードを受け取ってください。(原則として監督が行うこと)
- ⑥ ボールペンまたはサインペンなどの消えにくく見やすいもので記入してください。(打順については鉛筆で記入してください)





記入例

全国500歳野球大会 個人カード			
チームの 抽選番号		チームNo 3	
チーム名 大仙パイレーツ			
登録番号 (No.) プログラムの 通し番号		背番号 51	
氏名 神岡 一郎			
年齢 60		備考	
(打順) 出場試合の 打順を記入	1		
	鉛筆で記入		
(守備) チームでは 記入しない			

※ の欄はボールペン等で記入してください。
 ※「大会プログラム」と相違ないことを確認してください。



全県500歳野球大会の主たる記録

NO	区 分	大会回数年度	所属チーム	選手名	備 考
1	大会第1号本塁打	1 s 54	神宮寺嶽クラブ	高橋 精力	
2	最年長本塁打(72歳)	39 H 29	若美OB会	落合 一男	
3	通算最多本塁打(22本)		八郎湯セイルズ	千田 清	
4	大会最多本塁打(6本)	38 H 28	秋銀クラブ	京 春木	
5	1試合最多本塁打(3本)	9 s 62	秋田営林局OB	奈良 吉丸	
		30 H 20	秋銀クラブ	笹山 大誠	
		38 H 28	秋銀クラブ	京 春木	
		39 H 29	八竜OB	田中 政喜	内2本は1イニング連続打席
6	連続打席本塁打(4打席連続)	15 H 5	角間川角球クラブ	森川 幸雄	
		38 H 28	秋銀クラブ	京 春木	
7	1イニング4本塁打	29 H 19	神岡大浦クラブ	福山 次夫	
				佐藤 孝志	
				川本 洋治	
				進藤 勉	
		30 H 20	八郎湯セイルズ (4者連続)	千田 清	
				千葉 昇	
				加賀谷 貴男	
				小野 孝	
		35 H 25	高清水野球クラブ	戸部 良一	
				鈴木 透	
				渡辺 博之	
				斉藤 忠彦	
39 H 29	若美OB会	戸嶋 浩樹	3回第1打席		
		落合 一男			
		戸嶋 浩樹	3回第2打席		
		小澤田 一志			
41 R 1	美郷グランDEST	熊谷 寛永			
		中村 誠			
		伊藤 浩行			
		富樫 一博			
8	連続打席安打(11連続安打)	25 H 15	秋田東部クラブ	高良 博美	
9	最年長先発投手(82歳)	40 H 30	能代中和クラブ	村田 正之	1イニング その後セカンドで守備
10	最年長完封投手(71歳)	30 H 20	船川OB	田中 栄治	
11	完全試合	5 s 58	新屋日新クラブ	斉藤 政雄	3回
				泉谷 敏夫	2回
		21 H 11	大住クラブ	小坂 清七	3回
				相原 由重	2回
		22 H 12	秋田市役所OB	吹谷 仁	2回
				荻原 久	2回
				中島 義博	1回
		25 H 15	新屋日新クラブ	伊藤 俊明	3回
				佐々木 清策	2回
		26 H 16	和田クラブ	高橋 善孝	5回
		26 H 16	三菱マテリアルOB	藤井 武実	5回
		28 H 18	八郎湯セイルズ	小野 孝	3回
				三戸 賢一	1回
				三戸 達也	1回
		29 H 19	ナイスミドルOB	藤林 正樹	5回
		30 H 20	秋銀クラブ	小松 武	2回
				柴田 一郎	2回
		31 H 21	横手クラブ	小松 武	1回
				平元 久雄	3回
		32 H 22	田沢湖駒蹄クラブ	藤原 利雄	2回
東海林 良明	3回				
33 H 23	井川町名球会OB	林 利男	2回		
		藤田 道明	3回		
33 H 23	中仙クラブ	伊藤 宗夫	2回		
		小松 満	5回		
34 H 24	大曲クラブ	藤谷 弘志	5回		
34 H 24	比内クラブ	吉原 忠敏	3回		
		小倉 博隆	2回		
38 H 28	昭和愛球会	辻 陽	5回		
39 H 29	横手クラブ	伊藤 栄喜	3回		
		平元 久雄	2回31回大会に続き2回目		
12	1試合9連続奪三振	35 H 25	明徳クラブOB	伊藤 敏春	1・2・5回3イニング
13	連続優勝(3連覇)		秋銀クラブ		第27回~第29回
14	最年長出場選手(86歳)	21 H 11	しんまちOB	石山 政治	

全国・全県500歳・550歳野球大会の歴史

	全県500	全国500	
昭和54年	第1回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●第1回大会が8チームにより開催 船川OBと駒陽クラブが同時優勝 ●大会第1号本塁打 神宮寺嶽クラブ 高橋精力 選手
昭和63年	第10回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者表彰開始
平成元年	第11回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●厚生労働大臣杯が惠贈される
平成5年	第15回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●第1回全県550歳野球大会が開催
平成6年	第16回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●大会歌「時、限りなく」制定
平成9年	第19回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●グッドマナー賞が制度化
平成15年	第25回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●大会第1000号本塁打 船川OB 船木 昭悟 選手
平成25年	第35回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●大会第2000号本塁打 金浦ブルーフィッシュ 阿部 一之助
平成26年	第36回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●文部科学大臣杯が惠贈される ●全県500歳・550歳野球大会 ルールブック完成
平成27年	第37回大会		<ul style="list-style-type: none"> ●内閣総理大臣杯が惠贈される
平成28年	第38回大会	プレ大会	<ul style="list-style-type: none"> ●全国500歳野球プレ大会が開催される ●第8回沖縄国際映画祭にて よしもと興業制作のドキュメンタリー映画 『500歳野球～オヤジ達の甲子園～』 が展出される ●全国500歳野球大会ルールブック完成
平成29年	第39回大会	第1回大会	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回全国500歳野球大会が開催 ●第5回スポーツ振興賞にて 「経済産業省 商務情報政策局長賞」を受賞
令和元年	第41回大会	第3回大会	<ul style="list-style-type: none"> ●全国全県500歳・550歳野球 共通ルールブックへ変更
令和2年	第42回大会	第4回大会	<ul style="list-style-type: none"> ●初の大会中止 (新型コロナウイルス感染予防対策のため)



500歳野球の歴史



500歳野球のきっかけとなったのは、昭和53(1978)年に行われたある野球の紅白試合。県野球協会会長をつとめていた、故高橋政泰氏の提唱により、実戦に参加する機会がなく観戦だけに終わっている50歳以上のOB達が集まり、熱戦を繰り広げました。

翌54年6月、「神宮寺嶽クラブ」の新調のユニフォームを着用した28名は再び紅白試合を行い、さらに7月1日には町内外の反響の大きさに力を得て「第1回大曲仙北500歳野球大会」を開きました。

これら二度の紅白試合と郡市大会を行い、自信をつけた選手の間から「今度は全県大会を開催したら」との声が上がり、同年10月20日、秋田魁新報社が主催となり、少年野球発祥の地と言われる旧神岡町の主管で、記念すべき「第1回全県500歳野球大会」が行われたのです。



【編集】大仙市・秋田魁新報社
(500歳・550歳野球大会実行委員会)

【監修】大仙市野球連盟 神岡支部

お問い合わせ先



〒014-8601秋田県大仙市大曲上栄町2-16
TEL.0187-63-1111 FAX.0187-63-7131